

2008 年度

科目名 生物学	対象学科・学年 教育教福 2 回生	担当者 井上 美智子
授業テーマ 宇宙史・地球史・生命史のなかの人間		
授業の概要と目標 地球に生命圏が存在するようになった前提とそれを支える環境とその現状・自分との関係について学びます。それを通し、今ここに生きていることについて各自が考え、自分なりの生命観・環境観を持つことが最終目標です。同時に、生命をめぐる領域では学問分野にこだわらない学際的な探求が進んでいること、現在の環境の問題点を考えるには生命をめぐる歴史的な視点が必要不可欠であること、自然科学は常に発展途上のものであること、自然科学で明らかになったことは私たちに新しい世界の見方を与えてくれることなどを知ってもらいたいと思います。		
評価方法 各期の期末レポート		
テキスト なし	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. オリエンテーション 2. 一般教育科目をなぜ学ぶ？ 3. 私はどこにいる？ 4. 宇宙の始まり 5. スケール 6. 宇宙の果てはあるのか？ 7. 物質の始まり 8. 地球の始まり 9. いのちって何？ 10. 生物って何？ 11. 生命はどのように誕生したか？ 12. 生物が存在するには何が必要？ 13. 地球の変化 14. 宇宙・地球・生命の歴史の年表づくり 15. 前期のまとめ 16. 進化とは何か？ 17. 種の多様性 18. 生態系 19. 種の多様性が生まれるために必要なこと② 20. つながり 21. 環境って何？ 22. 環境問題って何？ 23. 地球の気温を決めるもの 24. 地球温暖化問題とは？ 25. 地球温暖化をめぐる二つの立場 26. 化学物質汚染問題とは？ 27. 環境リスクと健康リスク 28. 地球の現状 29. 持続可能な社会の形成 30. 後期のまとめ		